



旭川支部
實吉 孝範

もはや後戻りはできない

何を書いてもいいということでしたので、自己紹介を兼ねまして、私が公認会計士・税理士を目指した理由を書きたいと思います。

私は、元々、システムエンジニアの仕事をしておりまして、企業システムを構築するという仕事をしていました。そんな中で、会計システムの構築というプロジェクトに入ることになり、当然、簿記くらいは知っておかなければならないということで、簿記の勉強を始めました。またプロジェクトメンバーの中には公認会計士という人種がいました。システムと会計、両方できたらものすごく稼げるのではないかと思ったのがきっかけです。

その後、30歳で会社を辞めて、公認会計士試験に専念し、34歳で合格、監査法人勤務を経て40歳で独立開業し今に至るという感じです。

当初のもくろみに反して、あんまり稼げてはいませんが、資格があるということとお金を稼ぐということは別のことなんだと気付き始めた今日このごろです。今でも、会計や税務のお仕事より、システム関係の方が自分には向いていたなと思います。道を間違ったかもしれないと思いつつ、もはや後戻りできませんので、このまま進み続けようと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

